

評価結果の公表

学校評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善の方策については、家庭や地域に周知することにより、連携・協力していくことができます。

公表の手段としては保護者対象の説明会、学校だより、ホームページなどがあり、各校それぞれの公表の在り方で情報発信をしています。資料11は、太宰府西小学校の「校長通信」の抜粋です。

保護者や地域住民の立場から公表された情報を見て、学校に共感し一緒に努力していこうと思えるようなものにしていくことが期待されます。また、外部に向けた情報の提供ですので、個人情報の保護に十分に留意する必要があります。特に、学力調査の結果についての公表は、他の学校との単純な比較や序列化を招かないように配慮しています。

資料11 公表例（太宰府西小学校「校長通信」より 抜粋）

太宰府西小学校<校長通信> 校長 松原郁弘

ひびき

9月6日

1学期の学校評価の結果のお知らせ
1学期末には本校の学校運営状況にかかわるアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。結果が集約できましたのでお知らせいたします。

- 1 1学期末に児童、保護者の皆様、本校教師に評価いただいた内容
本年度の経営構想の中の「学校像」「教師像」「子供の学習の様子」「子供の表現の様子」「学校の情報伝達」についてお尋ねしました。

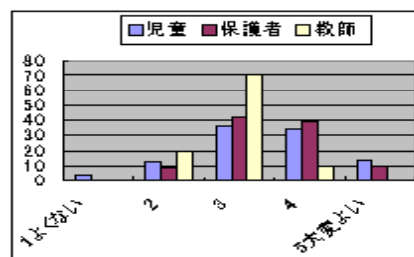
以下、その結果と校長としての考え（結果のとらえ方や今後の運営策等）をお伝えします。

- 2 評価の結果と考察、今後の方向性

- (1) 学校像について

日本のよさが漂う学校であったか。

- ・一日のあいさつ、会釈、正しく美しい日本語での会話が聞かれたり見られたりすること。



あいさつについては「皆にこにこしていて素敵。校内であいさつをする子が増えた。」という御感想をいただきました。

今後は、言葉遣いについて、子供自身が日頃から「正しく美しい日本語」を使っていると自負できるよう指導していきます。

また、「西小には韓国や中国の文化や言葉がたくさんありますが、他国の事よりも、日本の文化や言葉をたくさん教えてほしい。」という御意見をいただきました。国際交流をする中で“日本のよさを再認識させたい”という校長の考えがあり、この御意見を真摯に受け止めて本校の国際理解教育を進めていきます。

以下 省略